



2018年8月期 決算説明会資料

2018年10月11日

代表取締役社長 伊藤 雅文



2018年8月期決算概要

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2017年8月期		2018年8月期							
	実績		期初予算 (2017.10.12)		修正予算 (2018.7.11)		実績			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	期初予算 比(%)
売上高	4,765	100.0	5,978	100.0	6,456	100.0	6,444	100.0	35.2	7.8
売上総利益	1,495	31.4	1,255	21.0	1,524	23.6	1,549	24.0	3.6	23.4
販売管理費	904	19.0	1,016	17.0	1,040	16.1	1,043	16.2	15.4	2.7
営業利益	590	12.4	239	4.0	483	7.5	506	7.9	△14.2	111.7
営業外収益	5	0.1	1	0.0	5	0.1	5	0.1	0.0	400.0
営業外費用	97	2.0	63	1.1	53	0.8	53	0.8	△45.4	△15.9
経常利益	498	10.5	177	3.0	435	6.7	458	7.1	△8.0	158.8
特別利益	10	0.2	-	-	28	0.4	28	0.4	180.0	-
特別損失	201	4.2	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	306	6.4	177	3.0	467	7.2	486	7.5	58.8	174.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	282	5.9	150	2.5	407	6.3	410	6.4	45.4	173.3

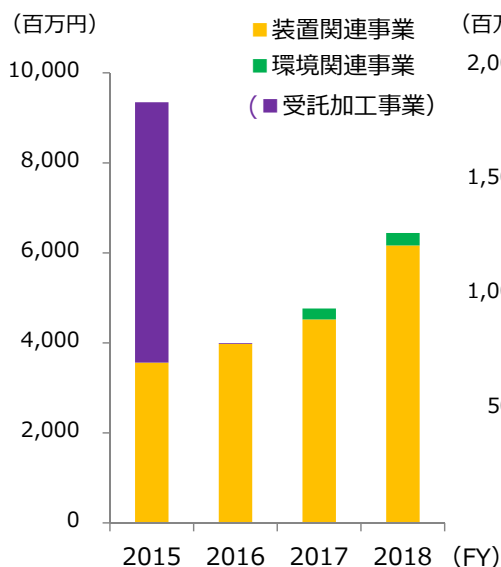
(注) 前期比及び期初予算比はその増減比です。

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

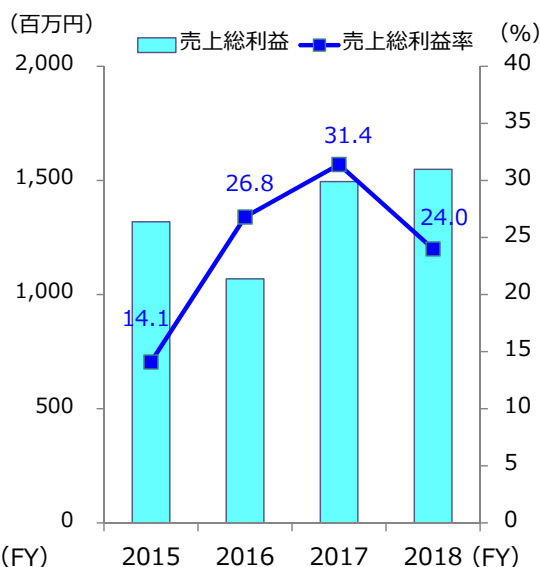
2

2018年8月期決算概要

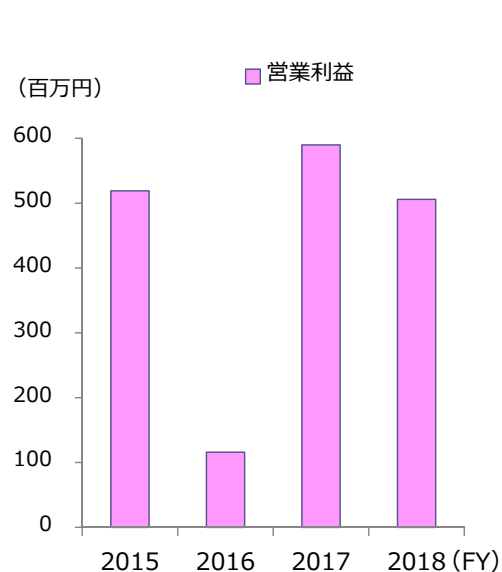
■ 売上高の推移



■ 売上総利益の推移



■ 営業利益の推移

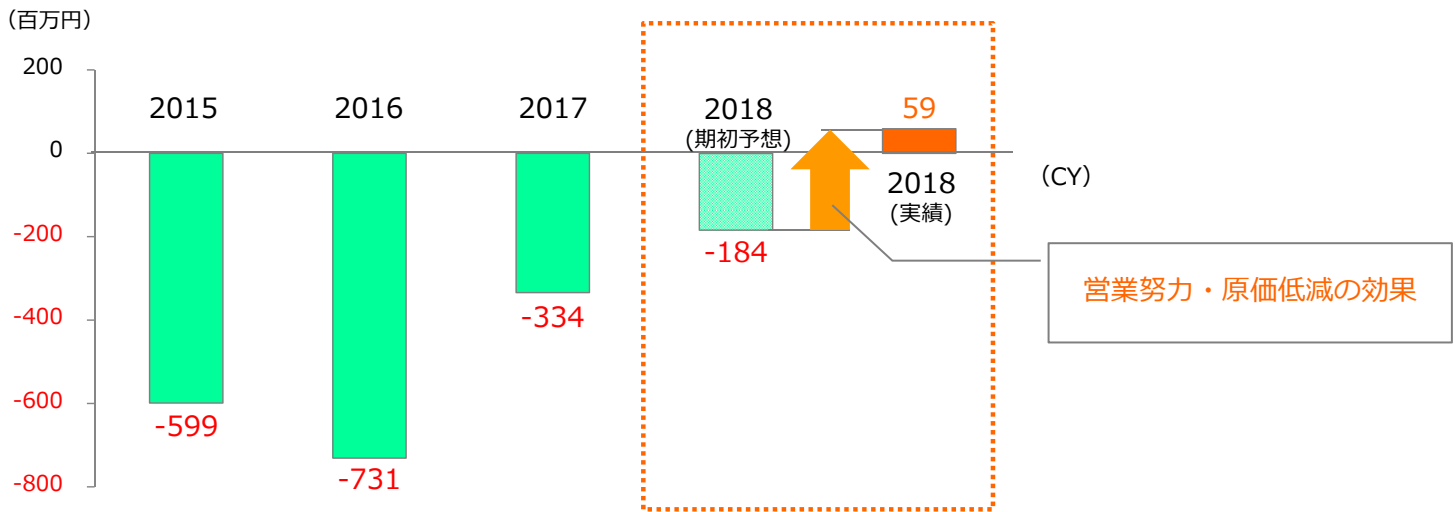


主力事業である装置関連事業が好調を維持

2018年8月期も売上総利益率25%程度を確保

5期連続の営業黒字を達成 (2014年8月期は467百万円の営業黒字)

■ 繰越利益剰余金の推移と配当



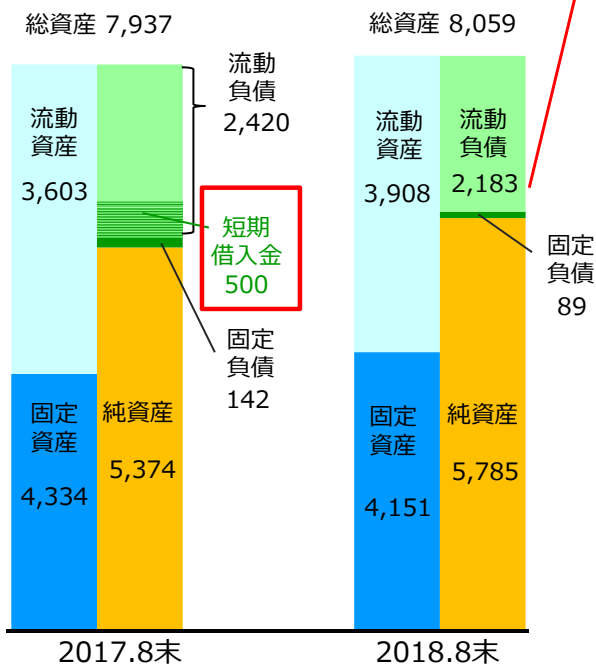
期初予想における期末時点の繰越利益剰余金はマイナスとなる見込みだったが
2018年8月期の利益増により繰越利益剰余金がプラスになったため復配を決定

配当金額 1株あたり 2.0円

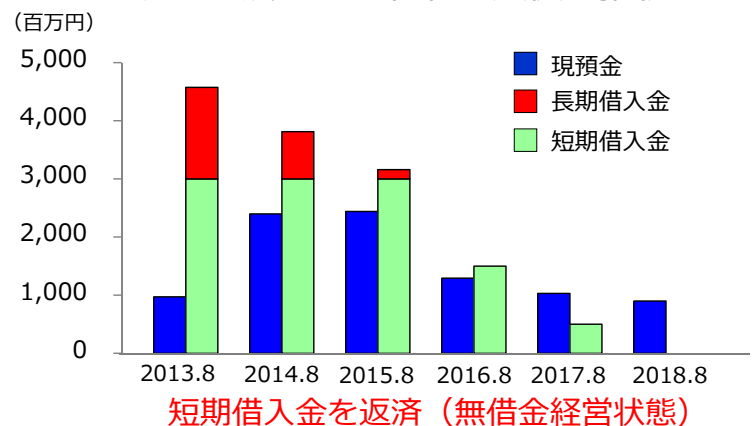
2018年8月期決算概要 貸借対照表

連結貸借対照表

(単位：百万円)



現預金残高及び有利子負債の推移



■ 財務の健全性について

- ・ 自己資本比率 72%
- ・ 流動比率 179%
- ・ コミットメントライン枠の維持 (借入可能枠：30億円から20億円に減額)

2018年8月期決算概要

装置関連事業

(単位：百万円)

	2017年8月期		2018年8月期					
	実績		期初予算 (2017.10.12)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予算(%)
売上高	4,521	100.0	5,660	100.0	6,165	100.0	36.4	8.9
売上総利益	1,437	31.8	1,158	20.5	1,436	23.3	△0.1	24.0
販売管理費	312	6.9	441	7.8	459	7.4	47.1	4.1
営業利益	1,125	24.9	717	12.7	977	15.9	△13.2	36.3

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び修正予算比はその増減比です。

■売上高

- ・主には米国の主要太陽電池メーカー向け大型ラインにより増収
- ・自動化装置はディスプレイ/食品関連を売上 (計270百万円)

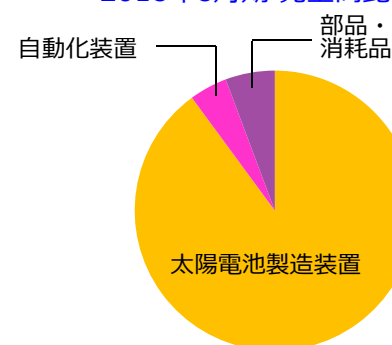
■売上総利益

- ・売上増と営業努力、原価低減による利益率改善により、期初計画より増益
- ・棚卸資産の評価損の影響もあったが一定の利益率を確保

■販売管理費

- ・研究開発の強化、人件費増加、売上増に伴う租税公課の増加

2018年8月期 売上高比率



Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

2018年8月期決算概要

環境関連事業

(単位：百万円)

	2017年8月期		2018年8月期					
	実績		期初予算 (2017.10.12)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予算(%)
売上高	243	100.0	318	100.0	278	100.0	14.4	△12.6
売上総利益	57	23.5	96	30.4	112	40.3	96.5	16.7
販売管理費	113	46.5	89	28.0	89	32.0	△21.2	0.0
営業利益	△56	-	7	2.2	23	8.3	-	228.6

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び修正予算比はその増減比です。

■売上高

- ・環境関連事業の市場ニーズが高まり前期より増収
- ・検査サービスやパネルのリユース販売が好調な一方、パネル検査機器が少なかったため期初予算は未達

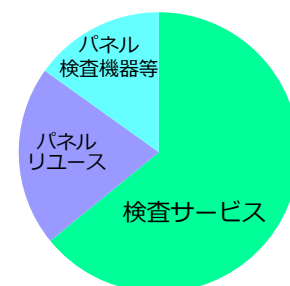
■売上総利益

- ・適切な工数管理とパートナー企業との協力により、検査業務を効率化させて原価を低減
- ・差別化された付加価値が高いサービスによる高利益率の確保

■販売管理費

- ・開発担当者をパネル検査サービス業務に兼務させたことにより、人件費の一部が原価計上されたことで前期より減少

2018年8月期 売上高比率



Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

2018年8月期決算概要

受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2017年8月期		2018年8月期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
装置関連事業	5,426	4,496	6,663	22.8	4,993	11.1
環境関連事業	175	138	523	198.9	383	177.5
合計	5,602	4,634	7,186	28.3	5,377	16.0

(注) 前期比はその増減比です。

■ 全体総括

- ・ 既存ビジネスで着実に受注を獲得し、新たな取組である自動化装置・パネル解体装置でも予想を上回る受注を獲得したことで、受注高は大きく伸長した
- ・ 受注残高は2019年8月期の売上高予想の約77%に相当する5,377百万円となった

■ 装置関連事業

- ・ 米国の主要太陽電池メーカーから大型の増産（リピート）ラインを受注
1ラインあたりの受注額は、新装置も追加となり増加
- ・ 自動化装置は497百万円受注

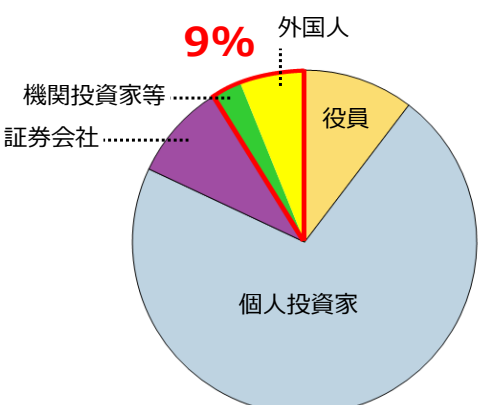
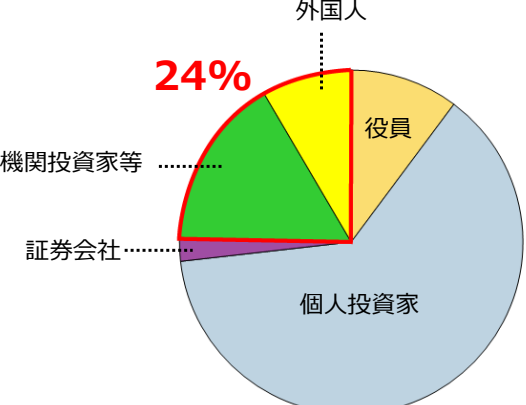
■ 環境関連事業

- ・ 受注高と受注残高は、前期比で大幅に増加
- ・ 複数の大規模発電所からの使用前自主検査を中心に受注獲得
- ・ 今後20年間の定期メンテナンス（合計30MW分）を受注
- ・ パネル解体装置の第1号自動ラインを受注

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

8

株主構成

	2017年8月末時点	2018年8月末時点
総株主数	8,216名	7,654名
保有割合		
平均出来高	347,552株/日 (発行済株式総数の1.58%)	1,384,675株/日 (発行済株式総数の6.28%)

機関投資家や外国人投資家からの注目度が向上

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

9

2019年8月期の方針とアクション

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

10

2019年8月期の方針

2019年8月期 全社方針

事業の強化・拡大により変化に強い企業を目指す

装置関連事業

1. 米国主要顧客との関係強化で長期かつ安定的なビジネスの獲得
2. 幅広い業界に対して自動化装置の実績を積み上げ

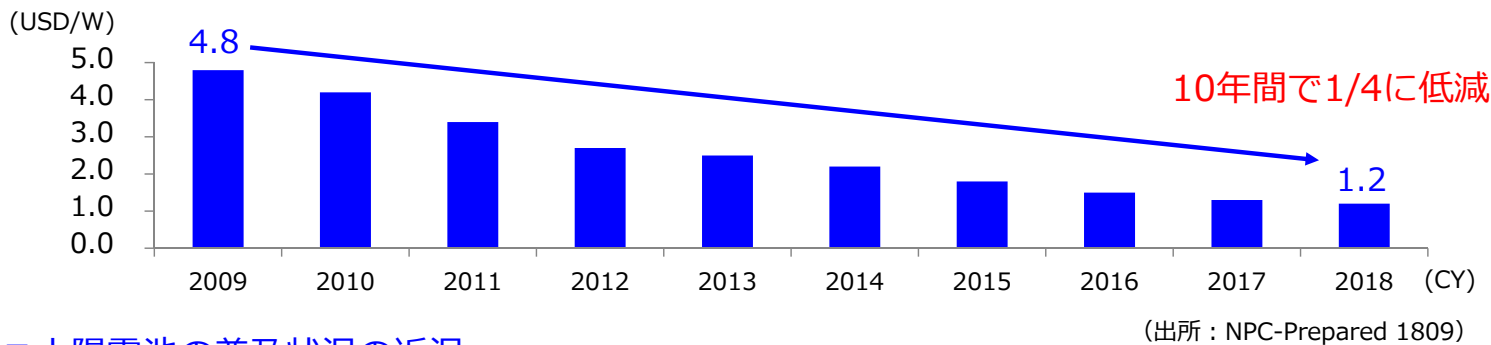
環境関連事業

1. 大規模発電所をターゲットとした使用前自主検査・定期検査の更なる積み上げ
2. 検査実績を活用した独自の新サービス（遠隔監視データ分析サービス）の提供
3. PVテクノサイクルによるパネルリユース・リサイクルの強化

2019年8月期のアクション

装置関連事業：太陽電池市場

■世界の太陽光発電システムコストの推移



■太陽電池の普及状況の近況

最近の需要 太陽電池市場の成長は固定買取価格制度に左右されていると言われるが、導入量を設定する政策やESG投資を意識した民間企業の需要が増加

政策

導入量の目標を設定する各種政策
(米国カリフォルニア州・ハワイ州は2045年までに再エネ100%、インド：2022年までに100GW等)

民間需要

- ・自家消費向けの再生可能エネルギーシステム導入の動き
- ・100%再生可能エネルギー利用を目指す国際的なイニシアチブ「RE100」の加盟企業社数：144社 (Apple, Google, Facebook, NIKE, IKEA, Nestle, リコー, 積水ハウス, アスクル, ソニー等)

世界的な太陽電池市場は固定価格買取制度には影響されないステージへ突入

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

2019年8月期のアクション

装置関連事業：太陽電池製造装置

■太陽電池メーカーごとの装置ニーズ

区分	求める製造装置
米国の主要メーカー	高効率パネルの開発・製造に必要なハイエンド装置
新興国のメーカー	品質向上のための信頼性の高い製造装置
中国の主要メーカー	コスト重視のための安価な製造装置

当社の
ターゲット

■米国の主要メーカーの状況や特徴

- 高い技術力を背景にパネルの変換効率を向上させてコストダウンを図る
- セーフガードや自治体の再生可能エネルギー導入政策による需要増で設備投資が堅調
- 安定的な中期ロードマップに沿ったCopy Exactly方式

■当社の取り組み

- 顧客ロードマップに沿った既存提供装置の安定供給
- 次世代パネルや高効率パネル向け新装置／新機構の開発
- テクニカルサポートや設計者の増員による社内体制の強化

2019年8月期のアクション

装置関連事業：太陽電池製造装置

■ First Solar社概要と当社との関係



← 15年以上の強固な信頼関係 →



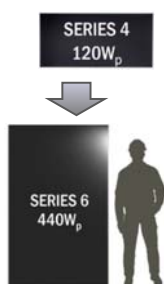
■ First Solar社の会社概要

- ・米国の薄膜系垂直統合型太陽電池メーカー
- ・CdTe系モジュールの出荷量**世界No.1**
- ・モジュールの累計出荷実績**17GW**
- ・業界随一の財務安定性（B/Sの健全性）

■ 新製品：次世代型パネルSERIES 6

- ・最大出力は従来比3.5倍以上の440W（面積は従来比約3倍）
- ・Wあたり製造コストは従来比40%減
- ・大型化により設置コストも削減可能

高い技術力とコスト競争力を有する



（出所：First Solar社発表の説明資料等）

- 2002年 真空ラミネーターの提供で取引開始
- 2003年 薄膜系パネルの自動製造ラインを納入
- 2005年
↑ オハイオ（米国）、ドイツ、マレーシアの工場に合計17ラインを納入
- 2011年
↑ 変換効率の向上の取り組みに対応した既設装置のアップグレード
- 2017年 SERIES6のパイロットラインを納入
↓ **バックエンドラインのメジャサプライヤーとして今後の増産に対応**

（出所：NPC-Prepared 1809）

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

2019年8月期のアクション

装置関連事業：自動化装置

■ 自動化装置の実績

- 太陽電池製造装置のフルライン提供による各種技術
- エンジニアリング技術
- 海外での実績や安全基準のノウハウ

真空技術の活用

既存技術+新技術の活用

ディスプレイ関連

- ・フィルム貼り合わせ装置
- ・シート提供装置



ファインテック2018
出品予定

有機EL・次世代LEDパネルの
貼り合わせニーズ

断熱材関連

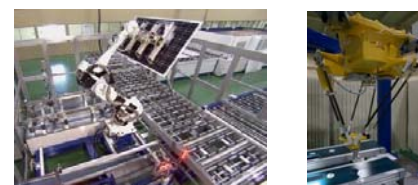
- ・真空断熱パネル封止装置



冷蔵庫用／建築資材としての
真空断熱パネルニーズ

自動車・食品関連

- ・車載部品の組立ライン
- ・食品搬送／梱包装置



自動化ニーズが継続

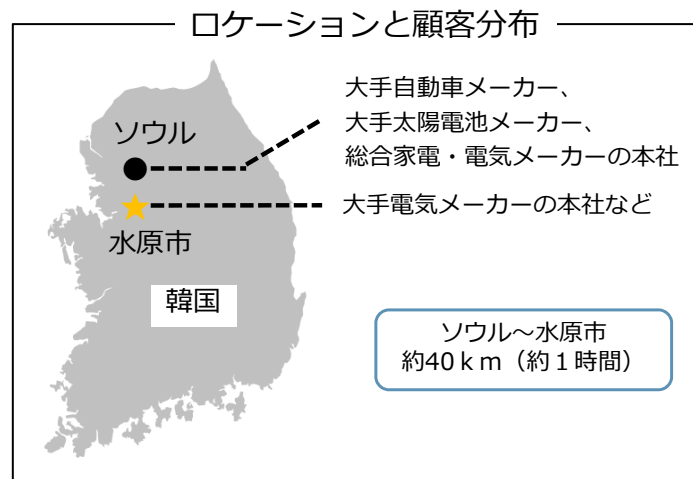
幅広い業界に対して自動化装置の実績を積み上げ

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

2019年8月期のアクション 装置関連事業：

■ 子会社の設立

商号：NPC Korea Corporation(NKC)
 場所：水原市（スウォン）
 設立：2018年9月
 目的：①自動化装置ビジネスの営業強化
 ②サプライチェーンの拡大



■ 設立目的の背景

① 自動化装置ビジネスの営業強化

- ・ 営業面での新規開拓（取引実績がある財閥系太陽電池メーカーの関連企業に展開）
- ・ 有機EL/LEDディスプレイ案件の最重要顧客へのカスタマーサポート

② サプライチェーンの強化

- ・ 仕入先の開拓
- ・ 製品の品質向上及び原価低減

2019年8月期のアクション 環境関連事業：パネル検査サービス

■ 検査サービスの実績（2018年8月末時点）

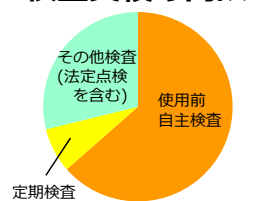
検査実績
 (累計) **983MW** (協力会社との実績657MW)

- ・ 検査実績は900MW（期初目標）以上を達成

検査予定
 (受注済) **652MW**

- ・ 特別高圧案件を19件受注、その中でも**100MW**を超える大規模発電所の使用前自主検査を2件受注
- ・ 20年間の定期検査の受注獲得（定期検査での初の実績）
 （設備容量：30MW、I-V検査+ドローンによるIR検査）

検査実績の内訳



岡山県
255MW
 使用前自主検査

鹿児島県
100MW
 使用前自主検査



■ 今後の展開

- 使用前自主検査、定期検査の更なる獲得
- ・ 今後建設予定の認定済み大規模発電所の使用前自主検査の獲得
 - ・ 既に検査実施済みの発電所への定期検査（20年間）の獲得
 - ・ パネル検査サービスの新サービスの提供

大規模発電所をターゲットに使用前自主検査・定期検査実績の更なる積上げ

遠隔監視データ分析サービスを2018年10月からサービス開始

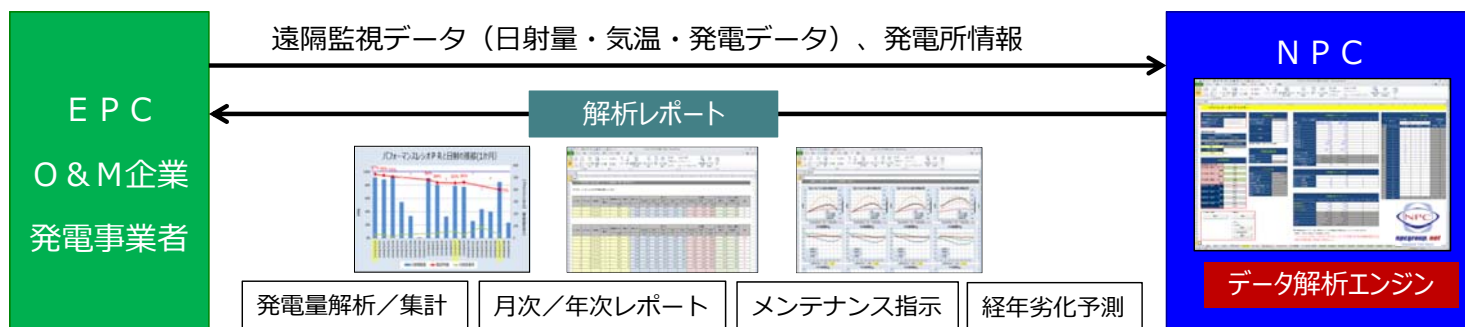
■ 遠隔監視システムの課題点

遠隔監視システムだけではパネルの性能や期待される発電量が出ているかどうか分からない

ハード的要因：実際の発電量しか分からない、蓄積したデータを分析する機能がない

人的要因：人手が足りない、時間がない、データを分析するノウハウや知識がない

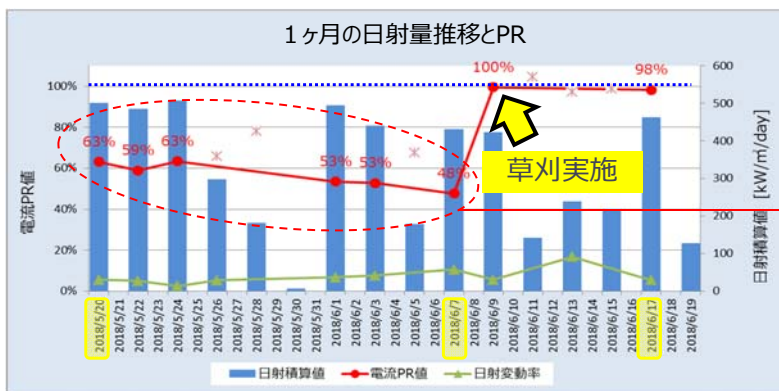
■ 分析サービスの特長



- これまでの検査ノウハウを活用した機能（フィルタリング機能、温度補正機能等）
- 期待される発電量に対して、実際の発電量をDC側で判断できる
- 太陽光発電所のどこで問題が発生しているのかが分かる
- 時間や手間をかけずにパネルの性能や影や汚れの発生も直ぐに分かりコストダウンに繋がる

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

■ 解析レポートサンプルと活用例



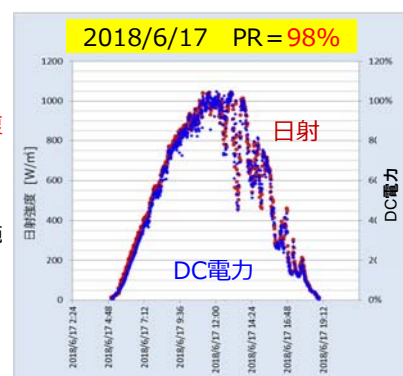
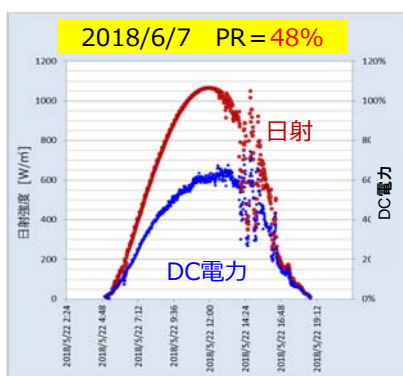
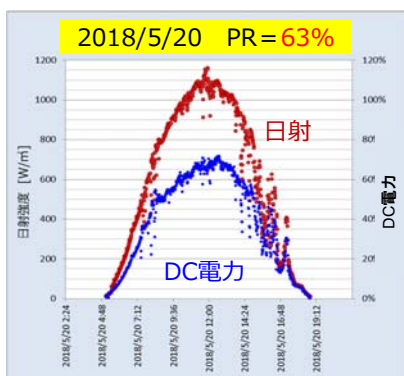
期待される発電量に対して実際の発電量の率(パフォーマンスレシオ(PR))が低くなっている

↓

パネルに故障か影等が発生している

↓

PRが徐々に減少しているため雑草が伸びて影が拡大していると判断



Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

■ PVテクノサイクル社概要



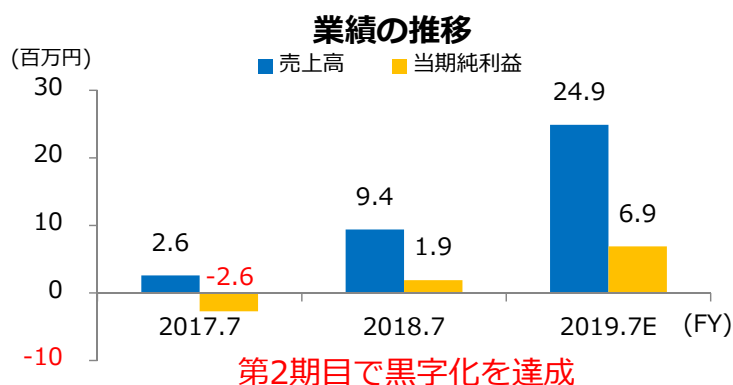
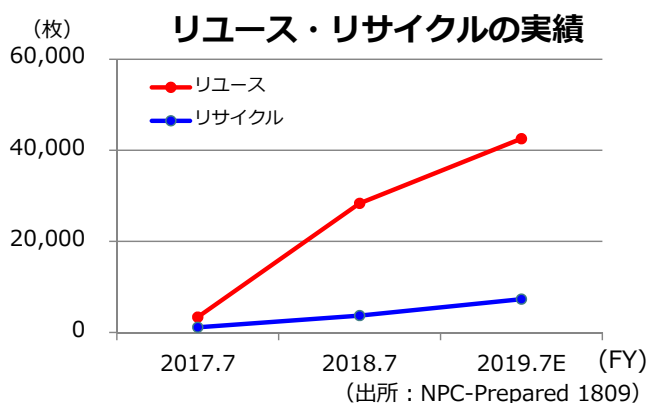
目的：太陽光パネルのリユース・リサイクルサービスの提供

概要：産廃業界で40年以上の実績がある浜田社と当社との合弁会社（出資比率50:50）

■ 両社の強みを活かした事業展開

- ・ NPCのパネル検査サービスで培った実績とネットワーク（1.5GW以上の実績、約2,000社のEPCリスト）
- ・ 全国を網羅する浜田社のパネル回収ネットワーク（47都道府県全国対応）
- ・ 両社のネットワークを活用したリユースパネルの調達および販売
- ・ 世界唯一の技術である「ホットナイフ分離法®」によるパネルのリサイクル事業（低コスト・低環境負荷）

■ 実績及び業績



Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

■ パネル解体装置の自動ラインを提供開始

自動解体ラインのプロセス

【太陽光パネルの構造】

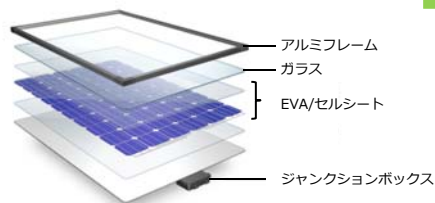


Image courtesy from DuPont Photovoltaic Solutions

ジャンクションボックス
除去装置



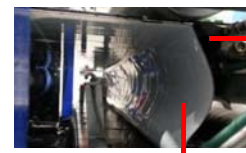
ジャンクションボックス

アルミフレーム分離装置



アルミフレーム

ガラス・EVAセル分離装置



EVA/セルシート
ホットナイフ分離法®

ホット
ナイフ

■ 国内展開

- ・ 西日本地区で第1号自動パネル解体ラインを納入予定
- ・ 松山工場における産業廃棄物中間処理業の取得（定款変更予定）
- ・ 割れガラスパネル（災害等でダメージを受けたパネル）対応のガラス・EVAセル分離装置の開発
- ・ リサイクルニーズに合わせてパネル解体設備を全国展開

■ 海外展開

- ・ ヨーロッパ（ドイツ、イタリア、フランスなど）と米国へ展開



Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

ESG参考情報： 環境関連事業の環境負荷低減効果

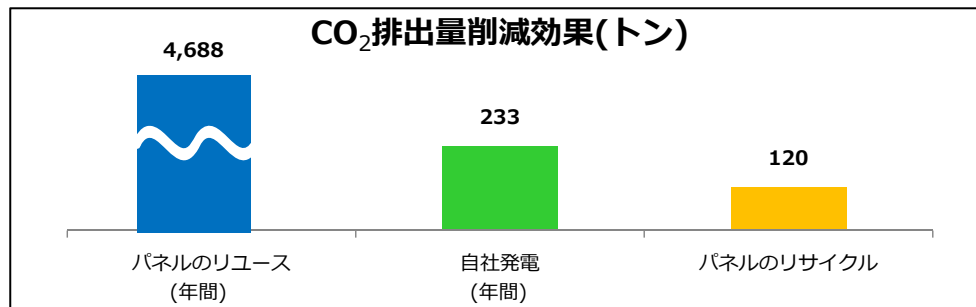
■実績

	年間発電量	年間CO ₂ 排出量削減効果(※)
パネルのリユース	8,788,276kWh (250W×31,783枚)	4,688t
松山工場の太陽光発電システム	437,976kWh (システム容量 396kW)	233t

※火力発電と太陽光発電を比較した場合の1kWhあたりのCO₂削減効果533.5g-CO₂/kWh(太陽光発電協会より)

	発電能力	CO ₂ 排出量削減効果(※)
パネルのリサイクル	1,222kW (250W×4,887枚)	120t

※パネルを廃棄せずリサイクルした場合の1kWあたりのCO₂削減効果98.1kg-CO₂/kW(みずほ情報総研より)



事業活動を通じて5,041トンのCO₂排出量削減に貢献

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

ESG参考情報： 環境関連事業の環境負荷低減効果

■ガラス・EVAセル分離装置の処理能力



パネル1枚あたり約50秒で処理、1日400枚360日稼働した場合

- 枚数換算 : 約144,000枚/年
- 発電量換算 : 約36,000kW/年 (144,000枚×250W)

■環境負荷低減効果

分離装置の処理能力
36,000kW/年

×

リサイクルによるCO₂排出量削減効果(※)
98.1kg-CO₂/kW

=

3,531トン/年

※パネルを廃棄せずリサイクルした場合の1kWあたりのCO₂削減効果98.1kg-CO₂/kW(みずほ情報総研より)

■今後3年間の装置導入目標に対する環境負荷低減効果

- 今後3年間で合計7ライン導入を目標

2021年時点の年間CO₂排出量削減効果のキャパシティ
3,531トン×7ライン=24,717トン/年

ESG参考情報： 環境関連事業の地域社会への貢献

■ 「環境」「教育」「国際交流」分野での地域社会への貢献（一例）



「環境」

- ・松山工場が「まつやま次世代エネルギーパーク」として登録
- ・松山市野外活動センターへのパネル検査サービスの提供



「教育」

- ・サマー！エコ・キッズスクールの開催（松山市主催）
5回実施、累計250名以上が参加



「国際交流」

- ・JICA四国青年研修の工場見学を受け入れ

環境



松山市内で実施

教育



8月に実施（62名参加）

国際交流



JICA研修の様子

事業活動を通じて地域住民との直接交流や、地元企業としての社会貢献を目指す

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

24

2019年8月期業績予想

連結損益計算書

(単位：百万円)

	上期		下期		通期		
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)
売上高	1,839	100.0	5,162	100.0	7,002	100.0	8.7
装置関連事業	1,564	85.0	4,896	94.8	6,461	92.3	4.8
環境関連事業	274	14.9	266	5.2	541	7.7	94.6
売上総利益	494	26.9	1,055	20.4	1,549	22.1	0.0
装置関連事業	392	25.1	997	20.4	1,390	21.5	△3.2
環境関連事業	101	36.9	57	21.4	158	29.2	41.1
販売管理費	511	27.8	503	9.8	1,015	14.5	△2.7
営業利益	△17	-	552	10.7	534	7.6	5.5
営業外収益	0	0.0	0	0.0	1	0.0	△80.0
営業外費用	29	1.6	14	0.3	44	0.6	△17.0
経常利益	△46	-	538	10.4	491	7.0	7.2
特別利益	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	△46	-	538	10.4	491	7.0	1.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	△51	-	480	9.3	428	6.1	4.4

(注) 前期比はその増減比です。

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

2019年8月期 業績予想

■売上高

- ・既存ビジネスと新ビジネスがともに順調に進捗し増収となる
- ・影響度が大きい主要顧客のプロジェクトのスケジュールにより **下期偏重**となる
- ・営業人員を増員し売上増を見込む

装置関連事業

- ・米国主要顧客の大型の増産（リピート）ラインで装置も追加となり、ラインあたりの売上増を見込む
- ・自動化装置の営業を強化して期中受注と期中売上を見込む

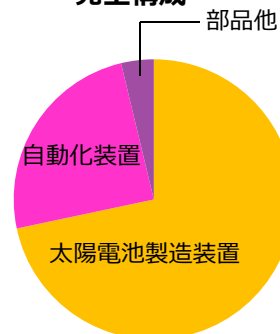
環境関連事業

- ・パネル検査サービスにおいて受注済みの大規模発電所2件の検査サービス含めて約260百万円を見込む
- ・パネル解体装置の第1号自動ラインの売上を見込む

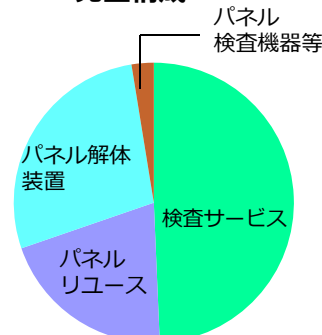
■売上総利益

- ・開発要素を含む自動化装置があり利益率は若干低下する見込み
- ・環境関連事業はパネル検査サービスのシェア拡大のため、利益率が低下する見込み

装置関連事業の
売上構成



環境関連事業の
売上構成



Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

■ 販売管理費

- ・ 2018年8月期とほぼ同程度を見込む
- ・ 特筆すべき費用の発生はなし

■ 営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益

- ・ 売上増に伴い増益
- ・ 売上高が下期偏重となるため上期は赤字となる

■ 配当予想

- ・ 期末配当として1株あたり2.5円を予想（前期比0.5円の増配）

■ 設備投資計画、減価償却費、研究開発費

項目	2019年8月期	内容	2018年8月期 (参考)
設備投資費	315百万円	新会計システム、パネル解体装置（松山工場設置分）等	23百万円
減価償却費	199百万円	—	201百万円
研究開発費	95百万円	パネル解体装置、高精度アライメント機構等	91百万円

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

28

まとめ



(出所) 株式会社エヌ・ピー・シー 2017年8月期 決算説明会資料

太陽電池製造装置	主要顧客との関係を維持し主力事業として引き続き業績を牽引
自動化装置	幅広い業界で実績を積むことで大きく増収を見込む
パネル検査サービス	大規模発電所を中心とした検査サービスで継続的・安定的に業績に貢献する
リユース・リサイクル	パネル解体装置の自動ライン投入で市場を牽引していく




2018年8月期は想定どおり進捗 2019年8月期も予定通りに事業展開していく

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

29

IRメールマガジン配信サービスで当社の最新情報をお知らせしています

IRメールマガジン登録のメリット

-  適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。
-  月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。
-  不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

■ご登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。

http://www.npcgroup.net/ir/ir_mail_magazine.html



Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

30

本日はありがとうございました

NPCグループは、
「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針にのっとり、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、
地球環境、地域社会等に貢献して参ります。

【 IRお問い合わせ窓口 】

株式会社エヌ・ピー・シー 総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206 FAX : 03-5817-8835
E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

Copyright © 2018 NPC Incorporated. All rights reserved.

31